

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	子育て短期支援事業			シート番号	014-044
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども家庭
				課	評価責任者(課長名)
					石戸

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	無
	2	事業開始年度	平成 8 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	児童福祉法、子ども子育て支援法			
	4	関連計画	堺市子ども・子育て支援事業計画			
5	事業実施の経緯	核家族化や都市化の進展などに伴い、家族や近隣社会における子どもの養育機能が低下していることを受け、児童及びその家庭の福祉の向上を図ることを目的として平成7年度から国において制度化された。平成8年度、中核市移行に伴い大阪府より事務移管。平成24年度、子ども育成課より事務移管。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	保護者による養育を受けることが一時的に困難となった児童又は急迫の場合等により保護を必要とする母子(短期入所)、保護者の仕事等が恒常的に夜間又は休日にわたる家庭の児童(夜間養護等)					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	家庭での養育が一時的に困難となった家庭の児童や、緊急一時的に保護を必要とする母子を、一定期間、養育及び保護を行うことで、安心して子育てができる環境の整備を図る。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	事業実施施設(乳児院(H28年度～)、児童養護施設及び母子生活支援施設)を指定し、委託により、当該施設において一定期間、養育及び保護を実施。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
10	直接実施以外の主な支出先	市内の児童養護施設、母子生活支援施設及び近隣の市外にある乳児院						

Ⅲ. 投入量

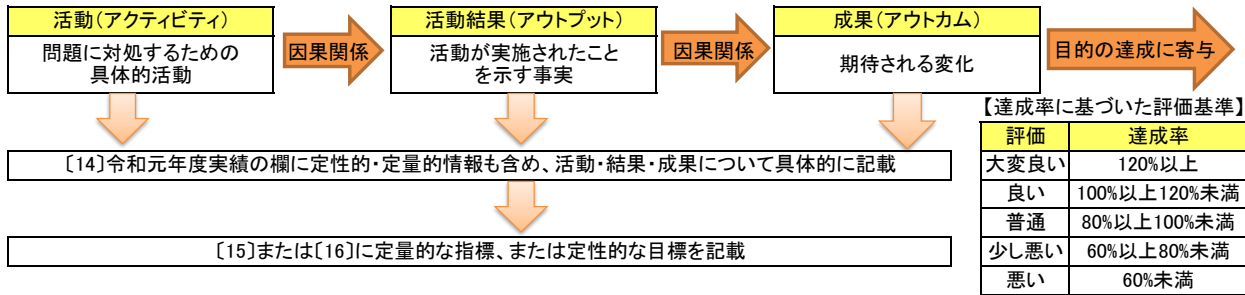
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費(a)	千円	3,022	1,700	2,692	3,429	2,692	3,280	2,919	
	主な事業費内訳	委託料	千円	3,022	1,700	2,692	3,429	2,692	3,280	2,919
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円	2,356	1,002	1,480	1,912	1,480	2,384	1,946
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
その他()		千円								
	一般財源	千円	666	698	1,212	1,517	1,212	896	973	
12	人件費(b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,620	1,640	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	4,662	3,340	4,332	5,069	4,332	4,900	4,559	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名 子育て短期支援事業	シート番号 014-044
--------------------	------------------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	<p>家庭での養育が一時的に困難となった家庭の児童や、緊急一時的に保護を必要とする母子を、一定期間、児童養護施設等で養育及び保護を行っており、利用者ニーズは増加傾向にある。特に夜間養護等事業においては、目標値を大幅に上回っており、利用者ニーズは高い。また、就労、疾病、育児疲れ等のサポートとして、当事業が実施され、安心して子育てができる環境整備につながっている。ただ、実績値については、頻りに利用する保護者や、兄弟で利用する場合に実績が伸びる傾向にあり、一概に実績の増減で成果を判断することは出来ない面がある。</p>					
	指標名【活動指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	15	延べ利用日数 (短期入所生活援助事業)	目標値	520	520	520	246
			実績値	245	453	461	
			達成率	47%	87%	89%	
			評価	悪い	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		令和元年度までは第1期堺市子ども・子育て支援事業計画、令和2年度は第2期計画に定める目標値を設定				
	指標名【活動指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	16	延べ利用日数 (夜間養護等事業)	目標値	260	260	260	260
			実績値	262	576	553	
			達成率	101%	222%	213%	
			評価	良い	大変良い	大変良い	
	算出方法・設定根拠など		令和元年度までは第1期堺市子ども・子育て支援事業計画、令和2年度は第2期計画に定める目標値を設定				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	延べ利用日数(短期入所生活援助事業)	日	245	453	461
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,210	3,388	3,274
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	9,020	7,479	7,102
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	延べ利用日数(夜間養護等事業)	日	262	576	553
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,130	1,681	1,626
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,313	2,918	2,940
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>利用者実人数は、30人前後で推移しており、これに基づいて目標値を算出しているが、利用者の事由によって、利用延べ日数が大幅に変動することがある。ただし、短期入所生活援助事業、夜間養護等事業ともに必要な利用者に対し、それぞれの利用ニーズを把握し、安心して子育てができる環境は整備されている。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

